



# 国際協力

No.48 2016.7.1

JICA駒ヶ根

## 長野県における JICA中小企業海外展開支援事業

7月1日、八十二銀行との連携・協力を行う覚書を締結しました。  
全国初の地域金融機関とJICAとの業務連携。

2012年より開始されたJICAの中小企業海外展開支援事業。JICA駒ヶ根でも2014年7月より専門スタッフを配置し、県内中小企業に向けた本事業の周知および本事業の活用を進めて参りました。

JICA駒ヶ根では、2014年度、2015年度と松本市、長野市、上田市、飯田市と長野県内各地で本事業を認知いただくためのセミナーを開催。各セミナーは、八十二銀行との共催により実施し、本支援事業は勿論、JETRO、中小機構、長野県など中小企業の海外展開支援を実施する各支援機関の担当者様にも出演いただき、各事業も紹介してまいりました。

2015年度には長野県内初の中小企業海外展開支援事業の採択企業も誕生。2016年6月現在、県内の以下の企業が本支援事業を実施しています。

また2016年2月には、長野県内の企業・団体を対象とした「民間連携事業インドネシア視察調査団」を初めて実施。7名の県内企業・団体がインドネシアにおけるJICAの事業を視察。インドネシアでは、八十二銀行の現地駐在員からのレクチャーや長野県人会との懇親会も実施しました。



パネルディスカッションの様子



今年3月に松本市で実施したセミナー

県内各地でのセミナーや現地視察調査団とともに、これまでも長野県内の中小企業支援機関のネットワークや八十二銀行をはじめとする県内の金融機関の勉強会にも参加させていただき、各担当の皆様へ本支援事業をご紹介致しました。さらに今年度からは、JETRO長野が事務局となる「新輸出大国コンソーシアム」長野県版の参加機関として、県内企業の途上国への展開についても支援していきます。

そして本年7月、JICA駒ヶ根では、県内中小企業の海外展開を支援し、中小企業の海外展開の促進と地域の競争力強化等を図るとともに、途上国の開発と我が国地域の活性化を目的とした八十二銀行との連携・協力の覚書を締結しました。

JICA駒ヶ根では、県内のより多くの中小企業の皆様の本事業を活用いただける様、同行とともに県内各地でのセミナーを実施してまいります。また今年度も途上国への視察調査団を実施していく予定です。

長野県内の中小企業の皆様、途上国への展開につきましてぜひお気軽にご相談ください。

# 長野県内企業のJICA中小企業海外展開支援事業実施案件

## 普及・実証事業

事業名:土壌分析・施肥設計に基づき鶏糞化成混合肥料を使用する農業技術の普及・実証事業

対象国:ザンビア

代表企業名:株式会社ジャパンバイオフィーム(伊那市)

## 中小企業連携基礎調査

案件名:ラオス国 代かき機・耕耘爪の生産及びASEAN域内販売可能性調査

対象国:ラオス

代表企業名:松山株式会社(上田市)

## 案件化調査

調査名:院内感染撲滅に向けた医療用抗菌システム普及案件化調査

対象国:ベトナム

代表企業名:株式会社信州セラミックス(大桑村)

## 案件化調査

調査名:ウガンダ・ポストハーベスト分野における農村部所得向上を目的としたコメ用石抜機導入に関する案件化調査

対象国:ウガンダ

代表企業名:株式会社細川製作所(安曇野市)

# シリーズ 世界から、地域で活躍！ 信州で活躍する元協力隊員に聞きました。

今回は、OB会や出前講座でご活躍の方々です！



上田市在住

みやはら かおる  
宮原 薫さん

平成8年度1次隊  
派遣国:バブアニューギニア  
職種:食用作物・稲作  
出身:青木村



### Q1:協力隊員となったきっかけは？

大学4年の時、ちょっと将来の展望を見失っていました。偶然、学校の廊下に貼ってあった協力隊のポスターに釘づけとなり、募集説明会に参加。帰国隊員の方の活動報告を聞いて、とても感動し、胸が熱くなりました。「自分にはこれしかない！」幸いなことに、1度目の受験で合格しましたが、派遣予定先にビックリ！なんせ、配属先の条件は「男性であればよい」という条件だけでしたから…

### Q2:派遣国での活動や生活はいかがでしたか？



現地での農業を教える宮原さん

南太平洋バブアニューギニア(以下、PNG)首都近郊のボマナ刑務所で農業指導をしていました。対象は囚人と農場の看守です。治安が悪いと言われるPNGの、しかも塀(実際は金網)の中でしたが、近所の皆さんや子供たち、囚人、看守たちと近所・友達付き合いすることで、特に危ない目にあうこともなく、楽しく充実した2年半でした。時折起こる脱獄の後には、囚人の労務が2週間ほど禁止となるため、1人で農場を管理(服役?)するのが、ちょっと辛かったです…

### Q3:協力隊の経験は今どう活かしていますか？

帰国後、長野県に就職し、主に農業改良普及指導員として活動しています。現在は、長野県全体の水稻、麦、大豆産地の課題解決や技術革新、普及指導員等の指導に携わっています。

普及指導員は、協力隊にとっても近い職種で、「対象者が自ら考え成長する」支援を行っています。隊員時代も刑務所の囚人たちが変化の様子、「ありがとね」という言葉が励みになりました。これが、普及指導員を志した動機になりました。

### Q4:OB会との関わり、そしてこれから協力隊に行かれる方へのメッセージ

現在、長野県OB会の副会長を務めております。各地(特に東信地区)で開催される国際交流イベントへのOB会ブース出展の企画・運営などを行っています。PNGなど任国の紹介も好評です。

これから協力隊に行かれる皆さん、任国で「信州」について発信してください。また、派遣中、帰国後も信州の皆さんに「任国」について発信しましょう！充実した隊員生活を送り、無事に帰国されることをお祈りしております。



現在、長野県の農家さんに農業指導をしている宮原さん



飯田市在住

はしもと たかえ  
橋本 幸江さん

平成14年度1次隊 派遣国:シリア  
職種:養護 出身:阿智村



### Q1:協力隊員となったきっかけは？

①特別支援教育実践を活かせる仕事があった。  
②当時勤めていた、中学校の社会科のクラスの生徒たちが一生懸命話を聞いてくれた。教科書や資料だけでなく、自分の目で見てきたことを伝えられたらもっと視野を広げてもらえるかも!?と思った。

### Q2:派遣国での活動や生活はいかがでしたか？

夏の暑さは大変でしたが、雨も降らず乾燥している為日本に比べ湿度が低いので過ごしやすく感じました。水たまりもできないので、蚊などの虫に遭遇することも稀でした。また、野菜や果物、ナッツ、チーズにヨーグルトなど、食べるものが豊富でとても美味しかったので幸せでした。そして何より、人々の親切さは格別でした！



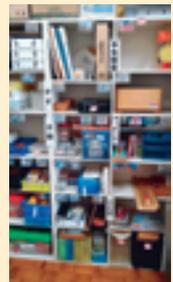
シリアの子供たちと一緒に

### Q3:協力隊の経験は今どう活かしていますか？

現在も、特別支援教育に携わらせてもらっています。国や環境は違っても、シリアの元同僚も私に対して同じ特別支援教育を担っている同僚としてみてくれた事がモチベーションの一つです。また、コミュニケーションの大切さや自分とは異なる文化や考え方を理解したり受け入れたりするという点で、国際交流と特別支援教育は共通することが多い(いや…同じ?)と思っています。

### Q4:これから協力隊に行かれる方へのメッセージ

隊員生活は、本当にあつという間に過ぎ去っていきます。現地と日本の良さをたくさん見つけてきてください。



学習教材の構造化

4/24

## JICA駒ヶ根で「一日体験入隊」を行いました。

4/24、新緑晴れの中「一日体験入隊」がJICA駒ヶ根で行われました。県内は元より愛知県や千葉県などから68名の方々が、様々な訓練メニューを体験しました。目玉のスカイプ中継では、バヌアツで活動中の下村珠美隊員が現地の活動について、わかりやすくお話してくれました。それに対し、参加者から熱心な質問があげられました。他にも語学授業体験や国際理解ワークショップなど盛りだくさんで行われた一日体験入隊。今後もより多くの方にJICAボランティアを知っていただくべく、引き続き情報を発信していきます！

5/15

## 2016年度第1回帰国報告会

JICA駒ヶ根にて青年海外協力隊帰国報告会を開催しました。それぞれの民族衣装で登場した報告者のお二人(下記)は現地での失敗談やスランプをどのように乗り越えたか等を熱く語ってくれました。

- ・酒井崇さん(青年海外協力隊、派遣国:モンゴル、職種:PCインストラクター)
- ・松尾祐美さん(青年海外協力隊、派遣国:バングラデシュ、職種:看護師)



5/29

## 第11回クロスカルチャーデー in KOMAGANE を開催

このイベントは海外からのゲストを駒ヶ根に招待し、駒ヶ根のいいところをたくさん味わっていただき、「国際協力の町駒ヶ根市」を広めようと、地元の方々と実行委員会を作り、実施しているイベントです。

今回は、メキシコとネパールから15名のゲストを招き、公民館でスペイン語を学んでいる地域の方々、現在駒ヶ根訓練所で訓練を行っているボランティア候補者とを合わせて総勢約50名で開催しました。

イベントは駒ヶ根高原の家族旅行村にて開催し、パターゴルフやノルディックウォーキングの体験、餅つきを行いました。昼食には地元の食材を使用した料理と出来立てのお餅を囲んで、国際交流することができました。ボランティア候補者は、主に訓練言語を駆使して、市民の方々と海外ゲストの交流の橋渡しをしてくれました。最後には、ゲストの名前を漢字で命名し、それを習字で記載したのもプレゼントし、大感動の中、閉会いたしました。次回は8月に開催予定です。



## ネパール復興支援イベント「ネパール大地震から1年。それぞれの復興支援活動～JICA、NGO、青年海外協力隊OB・OGの取り組み～」を開催



6月18日(土)駒ヶ根市の駒ヶ根総合文化センターにて、当訓練所主催のネパール復興支援イベントを実施しました。

第1部では、ネパール復興に向けた支援活動報告として、今年3月までJICAネパール事務所長として現場で陣頭指揮していた清水所長がJICAのネパール復興支援活動を報告しました。

またトカルパのひかり、ヒマラヤ保全協会、シャプラニール=市民による海外協力の会の担当者が、それぞれのネパールでの復興支援活動を報告。トカルパのひかりの窪田雅則会長からは、20年以上の交流を続けてきたトカルパ村での復興支援活動としての学生寮の建設について報告いただきました。

ヒマラヤ保全協会の戸田裕子事務局長(元青年海外協力隊員)、シャプラニールの宮原麻季前カトマンズ事務所長(元青年海外協力隊員)からも震災発生後のそれぞれの団体の緊急救援・復興支援活動を報告いただき、活動の難しさや現地の状況について伝えていただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、第1部で出演した戸田さん、宮原さん、そして青年海外協力隊ネパール会(OB会)の上坂とよ子副会長がパネリストとなり、同じくネパールの青年海外協力隊OBである信州大学農学部の本根和洋助教の進行のもと、「これからのネパールへの期待と課題。協力隊経験者からのメッセージ」をテーマに熱く語りました。

3人のパネリストからは、青年海外協力隊での経験やOB・OGのネットワークが現在の活動にどのように活かされているのか、JICAとの連携やJICAへのリクエスト、そしてネパールの復興における課題。そして、最後にはネパールの未来についてそれぞれの想いを語っていただきました。

# 草の根技術協力事業

## ●草の根研修員が 信州各地で研修しました！

信州の自治体から提案された草の根技術協力事業の研修員が、本国の生活改善や生計向上に役立てるため、信州の技術や知見を学びました。2016年4月から6月までに信州で研修した事業は次の3件です。

佐久市：タイの高齢者ケアの仕組みづくり

佐久穂町：スリランカの高齢者ケアの仕組みづくり

南牧村：安全な農畜産業技術普及

今後8月から9月にかけて、駒ヶ根市：ネパールの母子保健改善の研修員が妊産婦ケアに関する知識と技術を学ぶために、信州を訪問します。

信州には、生活に根差した多様な文化、技術が存在しますが、そんな信州ならではの知見を活かし、開発途上国の人々の生活改善・生計向上に直接役立つ技術協力を政府開発援助(ODA)の一環として実施できることが草の根技術協力事業の特徴です。

長野県内で国際交流、国際協力を実践されている団体様、草の根技術協力事業をやってみませんか？ぜひお気軽にご相談ください。



スリランカ高齢者ケア研修員が佐久地方の地域医療(福祉と保健予防の連携など)を学んでいるところ。

# JICA駒ヶ根 中小企業海外展開支援

## 伊那市の企業がアフリカ・ザンビアにおける普及・実証事業を実施中！



ザンビアで技術指導を行う小祝社長

中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～に採択された伊那市の株式会社ジャパンバイオフィーム(代表取締役 小祝政明)が、JICAとの事業委託契約を結び、本年2月より事業を開始致しました。この事業は、ザンビアにおける小規模農家の生産性および所得向上を目的に、同社の土壌分析・施肥設計の技術および鶏糞化成混合肥料を導入し、土壌分析サービスおよび栽培実証試験を行い、その効果を検証していきます。事業期間は3年間で予定しており、既に今年の4月に同社の小祝社長を含む調査団が現地を訪問しています。

JICA駒ヶ根では、同社に続き多くの県内企業がJICAの中小企業海外展開支援事業を活用いただける様、今後も県内各地でのセミナーや個別相談を実施して参ります。途上国への進出にご関心のある県内企業の皆様はお気軽にご相談ください。担当：小嶋(おじま)

## JICA長野デスクの窓から♪



JICA地球ひろば

3月30日、2015年度の信州国際塾最終回、「グローバル・パスツアー」が開催されました。

早朝に長野駅を出発し、東部湯の丸SA、佐久平PA、上里SAにて参加者をピックアップしたのち、最初の訪問地JICA地球ひろば(新宿区市ヶ谷)に到着。

展示の見学では途上国の暮らしや世界の現状を学びました。

ランチをはさみ、地球案内人による青年海外協力隊体験談。国際協力の道に進みたい学生も多く、沢山の質問が出ていました。テンポの良い語り、退屈そうなおらず、集中して話に耳を傾けている様子でした。

エスニックランチでは、本場の辛さに苦戦する人も…「東南アジアの人がこういう辛い物を食べているということが知れたのでよかった」「なぜ辛い物を食べているのか、家に帰って調べてみようと思いました」など、よい学びととらえていただきました。

次に代々木公園の散歩で桜を見たのち、東京ジャー

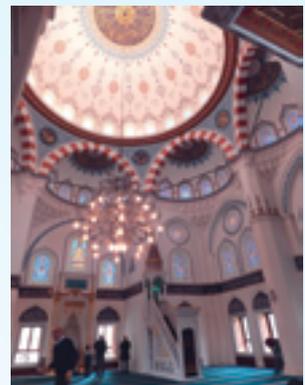
ミィ&トルコ文化センター(渋谷区代々木上原)へ訪問しました。

目を見張るイスラム建築の中で、実際のイスラムの習慣や、礼拝の様子を見学し、参加者の皆さんからは「こういう文化があることを知るの、これからの進路に役立った」「肌でイスラム教を感じて、偏見がなくなった」など、ポジティブな感想がたくさん出ていました。

参加者の皆様のご協力があり、楽しい時間を53人で共有できたこと、改めて感謝いたします！ありがとうございました。

※地球ひろばHPにも訪問の様子がアップされています。

[http://www.jica.go.jp/hiroba/about/experience/visitor/2015/160330\\_01.htm](http://www.jica.go.jp/hiroba/about/experience/visitor/2015/160330_01.htm)



モスク内部は美しいイスラムの装飾で彩られています。



1日5回のお祈りの時間を見学させていただきました。女性はスカーフを頭に巻きます。



あやとり

私の活動するバヌアツ共和国エスピリッツサント島は、南太平洋に浮かぶ小さな島です。常夏の島なので、雨季には湿度が90%を超えて大変な思いをすることもありますが、海がとてもきれいで美味しいフルーツがたくさん採れる素敵な島です。島民は、優しく陽気な人が多く、道を歩いているとよく声をかけられたり、庭で採れたフルーツをもらったりします。

私の活動は、算数科の指導改善と音楽教育の普及を目的に、現地の小学校に入り、子どもたちへの授業や先生方へのワークショップを行っています。また、子どもたちに日本への興味をもってもらいたいと考え、定期的に日本文化

の紹介週間を実施しています。

算数では、基本的な計算能力を伸ばすことに重点を置き、現地の先生方と相談しながら授業を進めています。一番苦労したのは、繰り返しやるという習慣をつけること。子どもたちは、九九の暗唱などを繰り返し練習したことがありません。飽きずに何度も練習できるように、歌を作ったり、カードを作ったりと色々な工夫をし、私が実際に授業をやって、担任の先生に見てもらっています。最近では、私がいなくても、担任の先生だけで同じようにやってみたとという話を聞くと嬉しくなります。



Japanese Week



九九を覚えている子供たち

残りの任期も、先生や子どもたちと一緒に、ここの生活を楽しみたいと思います。

## 帰国したJICAボランティアの方

2年間の活動  
お疲れ様でした!!



平成25年度4次隊

まつお ゆみ  
**松尾 祐美さん**

●派遣国: バングラデシュ (飯田市) ●職種: 看護師

バングラデシュ、ジェナイダ県の県病院で職場改善の指導を行っていました。要は整理整頓、掃除です。日本では小さいころから親や先生に言われ当たり前に行ってきた整理整頓。しかし、現地では薬品庫や倉庫は全てがぐちゃぐちゃに置かれていてどこに何があるのか全くわからない状態でした。また、残飯をあさりに動物も院内に侵入してくるような状態。どこから手をつければいいのかという不安から始まりました。しかし、活動を通して現地スタッフとの距離が縮まるにつれ、それに比例し職場環境も変化が見られました。帰国する頃には薬品棚など、どこに何がある



ごみ拾い運動

のか一目でわかるよう整理整頓され、とても見違えました。よい人間関係を作ることができたことが活動の鍵だったのではないかと思います。

ベンガル人はとても家族を大事にします。そして仲のいい友達もとても大切にします。私のことも家族のように接してくれました。人との繋がりを大切にできる心の温かさをこの国で学ぶことができました。また、日本ではなかなか機会のない宗教についても、知り学ぶことができました。



ごみ拾い中



子供と一緒に

ぜひ、少しでも多くの方にこのような日本では会えない体験などしてもらいたいですね。

### 新スタッフ



くどう ひろみ  
募集担当 **工藤 裕美**

4月より駒ヶ根訓練所で勤務しております。主にJICAボランティアの募集を担当しております。平成23年度3次隊の臨床検査技師の職種でカンボジアに派遣されました。自分の地元である長野県で青年海外協力隊に関わる仕事ができるうれしい限りです。どうぞよろしくお願いいたします。



あおやま さちこ  
看護師 **青山 幸子**

着任前は関東の病院で、主に手術室・内視鏡室等で看護業務を行っていました。伊那谷生活は、通勤時目にする仙丈・甲斐駒・塩見?そして木曾駒にパワーをもらい、職場では候補生の方々の若さや純粋さに触れ、心洗われております。新たな分野の業務なので看護倫理を読み返し、健康管理業務にあたりたいと思っています。



いたや りえ  
業務課所属 **板山 理恵**

伊那市で生まれ育ちました。駒ヶ根市へ来るといつも中央アルプスの美しさに圧倒されます。地元の自然や文化遺産などの保護に関心がありますので、駒ヶ根にも興味津々です。こちらへ来たのも何かのご縁、訓練生の皆さんと共に日々学んでいきたいです。



おかだ たみ  
広報・開発教育支援事業担当 **岡田 妙子**

4月から広報、開発教育支援事業担当として、こちらで勤務しております。飯田市出身で、久しぶりに長野県に帰って参りました。毎日中央アルプス、南アルプスが綺麗に見えて幸せだと感じています。これから、訓練所の広報として、皆様に色々なことを発信していきたいと思っています。これから、よろしくお願いいたします。

# Information

JICA駒ヶ根  
インフォメーション

## 派遣前訓練公開講座

参加は無料ですが、事前にお申込が必要です。

### ▶ 映画「クロスロード」上映会

内容：カメラマン助手になったものの、目標の見えない日々を過ごしていた沢田（黒木啓司）は、自分を変えようと青年海外協力量隊に飛び込むが…

7月30日(土) 15:10～17:00  
定員：20名

### ▶ 地球のステージ(コンサート)

内容：途上国で巡り合った人々との交流を映像と音楽そして語りて表現する「映像と音楽のシンクロ」ステージ。貧困生活の現状や紛争地域での子供たちの明るくたくましい姿などを映し出しながら、桑山氏自身の経験、ボランティア観を表現する。

8月17日(水) 19:00～21:00

定員：20名 講師：桑山紀彦氏(地球のステージ事務局)

### ▶ 異文化適応概論

内容：文化とは何か、理解とは何か、カルチャーショックとは何か、適応するとはどういうことかなどの異文化に入っていくにあたっての心構えを説く。

8月18日(木) 15:10～17:00

定員：10名 講師：関谷雄一氏  
(東京大学大学院 総合文化研究科 准教授)

### ▶ 国際関係と日本の国際協力

内容：日本の援助の歴史、概略、現状を理解する。

8月24日(水) 15:10～17:00

定員：10名 講師：廣野良吉氏(成蹊大学 名誉教授)

※講師の都合等で実施日が変更になる場合があります。

ホームページ <http://www.jica.go.jp/komagane/event/index.html>

公開講座とは…JICAボランティアの派遣前訓練で実施している各種講座を一般の方にも公開しているものです。会場はすべて駒ヶ根青年海外協力量隊訓練所です。

## 平成28年度第1次隊

# 長野県出身新ボランティア

行ってきます!!



みつはし こうたろう  
**三橋 光太郎**さん(長野市)

派遣国：チリ  
職 種：理学療法士

昔担当した南米出身の患者様のお話を聞いて以来、いつか協力量隊に挑戦してみたいと考えていました。任地であるチリでの活動の際は、今迄の自分の経験を全て活用し、少しでも何かを伝える事が出来たらと考えています。



おおにし てつり  
**大西 哲理**さん(松本市)

派遣国：ジャマイカ  
職 種：学芸員

レゲエ、トロピカルフルーツ、ラム酒…カリブ海に浮かぶジャマイカにはどんな人々が暮らしているのでしょうか。一緒に働きながら彼らの暮らしを見てきます!



こみ さおり  
**五味 沙織**さん(諏訪市)

派遣国：タイ  
職 種：作業療法士

私は作業療法士の仕事が大好きです。この仕事を通してたくさんの人に出会って、大切なことを学びました。これからタイへ行って、今私にできることを精一杯やりたいと思います。



こばやし えみ  
**小林 笑**さん(小諸市)

派遣国：ザンビア  
職 種：コンピュータ技術

協力量隊になるまではシステムエンジニアとして働いていました。教師経験がなく不安もありますが、感謝と笑顔を忘れず、ザンビアの中高生にパソコンの技術だけでなく、楽しさも教えることができたいなと思います。



こだいら ゆめこ  
**小平 夢子**さん(佐久市)

派遣国：ザンビア  
職 種：体育

教員養成校にて体育科教育法を伝える活動を行う予定です。子どもたちの心と体を育てる体育科教育の素晴らしさと必要性を広めたいと思います。現地の人と共にあることを大切に、多くのことを学びたいと思います。



ひめの もみ  
**姫野 紅絹**さん(木曾町)

派遣国：マダガスカル  
職 種：看護師

マダガスカルでは主に妊婦さんや子供と多く関わり、食生活や栄養の改善、手洗いや歯磨きなどの活動を行っていく予定です。現地の人々とより多く関わり、手助けができるような活動をしたいと思います。



くろいわ まゆみ  
**黒岩 真由美**さん(高山村)

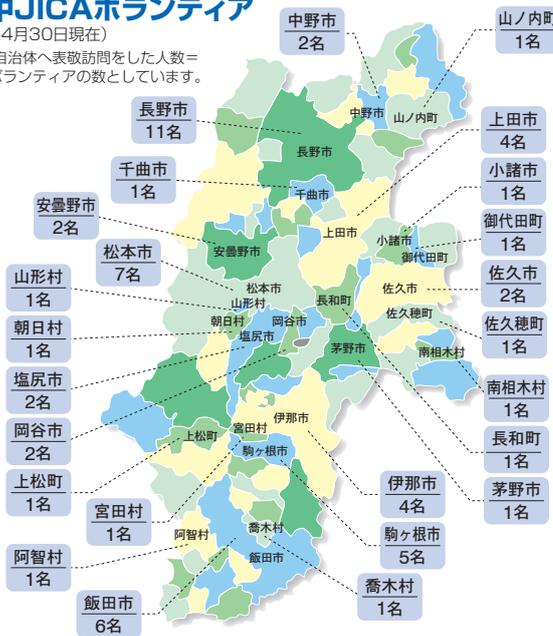
派遣国：ブラジル  
職 種：高齢者介護

サンパウロ州にある日系の高齢者福祉施設で、主に介護支援と技術の普及、レク活動を行う予定です。日本語話者の入居者には、日本語でお話しし、少しでも安らいでいただける活動をしたいと思います。

## 派遣中JICAボランティア

(2016年4月30日現在)

※各地方自治体へ表敬訪問をした人数＝JICAボランティアの数としています。



## 長野県関係者 JICAボランティア派遣実績

平成28年4月30日現在

- |                                   |                                    |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| ① 青年海外協力量員<br>派遣中 56名<br>累計 964名  | ③ 日系社会青年ボランティア<br>派遣中 2名<br>累計 24名 |
| ② シニア海外ボランティア<br>派遣中 5名<br>累計 76名 | ④ 日系社会シニアボランティア<br>派遣中 0名<br>累計 4名 |

発行 独立行政法人 国際協力機構  
駒ヶ根青年海外協力量隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15  
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336  
E-mail [jicakjv@jica.go.jp](mailto:jicakjv@jica.go.jp)  
<http://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

JICA駒ヶ根 facebook ページを開設!  
<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン  
☑ 配信希望の方は [jicakjv@jica.go.jp](mailto:jicakjv@jica.go.jp)  
までメールでご連絡ください!

JICA駒ヶ根では毎月1回メールマガジンを配信しています。県内の国際協力に関する動きやイベントなど、耳よりな情報をリアルタイムでお届けします。